

(事後評価結果)

令和4年度科学技術人材育成費補助事業 データ関連人材育成プログラム

(実施期間：平成29～令和3年度)

実施機関：東京医科歯科大学（総括責任者：田中 雄二郎）

(1) 評価結果

総合評価	目標達成状況	高度データ関連人材の育成	実施体制の構築	補助事業期間終了後の継続性
S	s	a	s	s

総合評価：S（所期の計画を超えた取組が行われており、今後の一層の進展が期待される）

(2) 評価コメント

総じて、所期の計画を超えた取組が行われていると高く評価できる。医療機関のリアルワールドデータを活用した研修を受けられることは受講者にとって大きな利点であり、加えて、ニーズを踏まえたカリキュラムの大幅見直しなど不断の努力を続けたことが、博士人材コースの受講者数の拡大に繋がっている。製薬企業等産業界からの会費収入により自走可能なレベルのプログラム運営に成功しており、今後の一層の進展が期待できる。

- ・ **目標達成状況**：受講者のニーズに即した、厚みのある充実したカリキュラムとなっており、特に3年目以降は、目標数値を十分上回る受講者数を継続的に達成し、修了者も順調に増加している。また、多くの分野の企業を対象としたことで、ビッグデータ医療・AI 創薬を学んだ人材の新たなキャリア形成モデルを構築した。1年間の補助金延長交付を受けて自走のための基盤を強化し、令和3年度にはデータサイエンス人材育成プログラムの発展型として東京都との連携により、アントレプレナー等新たな人材育成事業を開始するなど活動の幅を広げ、着実な取組が進められている。
- ・ **高度データ関連人材の育成**：入門編・基礎編・応用編・実践編の四段階の科目群から構成されるデータサイエンス人材育成プログラムを構築・運営するための充実した体制が整えられており、育成する人材像やキャリアパス等も明確に設定され、効果的・効率的にデータサイエンス等のスキルを習得させる研修プログラムを構築した。今後は国際的連携も視野に入れつつ、作り上げたシステムやコンソーシアムを拡大し、医療専門職のライセンスを有する博士人材のみならず、広い分野におけるデータサイエンス教育へとさらに発展することを期待する。
- ・ **実施体制の構築**：参画するすべてのステークホルダーに目的や方向性が共有されており、さらにきめ細かいコンソーシアム運営委員会の活動により協業が円滑に進んでいる。企業メリットの設計も適切であり、博士人材の無料受講と企業の有料受講の両方をバランスよく組み合わせている。コンソーシアムにおける各機関の役割分担が明確であり、社会のニーズを積極的に取り入れた効果的な実施体制となっている。
- ・ **補助事業期間終了後の継続性**：自走のための仕組みとして、研修プログラムの多様化を通して企業人材コースの会費獲得を目指し、その結果が補助事業期間内に十分示され、高いレベルで継続性・発展性が期待できる。今後も、取組の成長に合わせて、カリキュラムの見直しやターゲット層の分析等を継続して続けられたい。参画機関の一層の拡大を通じて創薬・医療分野における ALL Japan のデータ人材育成拠点として発展されることを期待する。